

平成22年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	少	少
	うどんこ病	やや多	やや多
	褐斑病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ	並	並
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類	並	並
	ハモグリバエ類	やや少	やや少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病 (防除情報第17号)	多	多
たまねぎ	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	やや多	やや多
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並
	コナガ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(10筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率1.4%、発生圃場率31.2%)。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(10筆)の結果、発病葉率は4.1%(2.6%)、発生圃場率は50.0%(44.8%)であった。

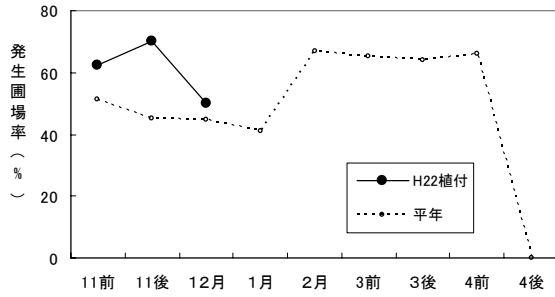


図 キュウウドンゴ病 発生圃場率の推移(巡回調査)

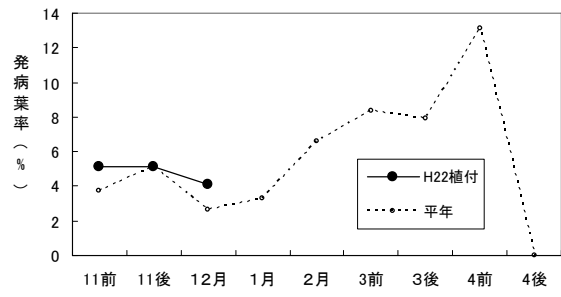


図 キュウウドンゴ病 発病葉率の推移(巡回調査)

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- イ 薬剤耐性菌を生じるおそれがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(10筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率1.0%、発生圃場率21.9%)。

4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(10筆)の結果、寄生葉率は0.1%(0.2%)、発生圃場率は10.0%(7.3%)であった。

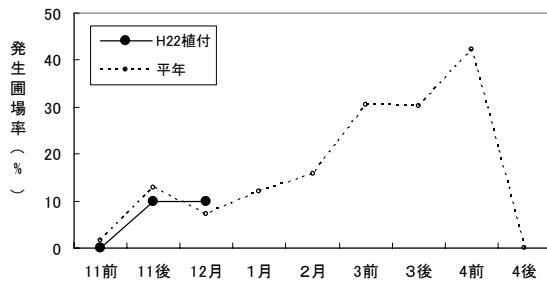


図 キュウリミナミキイロアザミウマ 発生圃場率の推移(巡回調査)

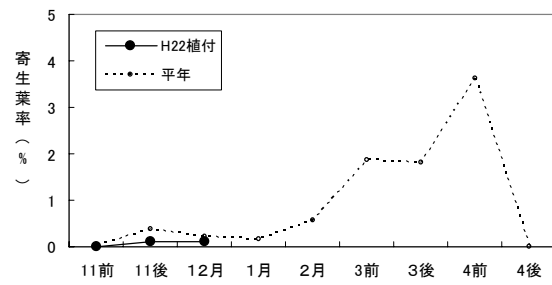


図 キュウリミナミキイロアザミウマ 寄生葉率の推移(巡回調査)

5. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(10筆)の結果、寄生葉率は1.0%(1.2%)、発生圃場率は30.0%(30.2%)であった。

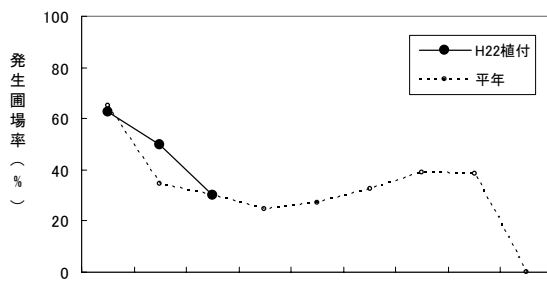


図 キュウリコナジラミ類 発生圃場率の推移(巡回調査)

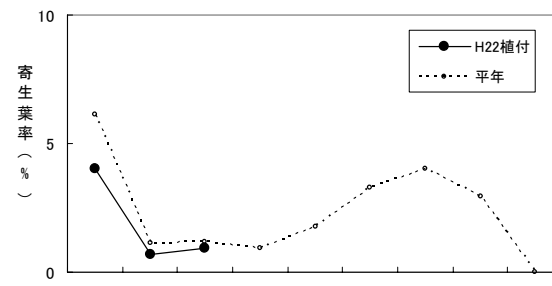


図 キュウリコナジラミ類 寄生葉率の推移(巡回調査)

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.2%(過去6ヵ年平均0.2%)、発生圃場率は33.3%(同18.8%)であった。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.8%(寄生株率1.2%)、発生圃場率は25.0%(24.0%)であった。

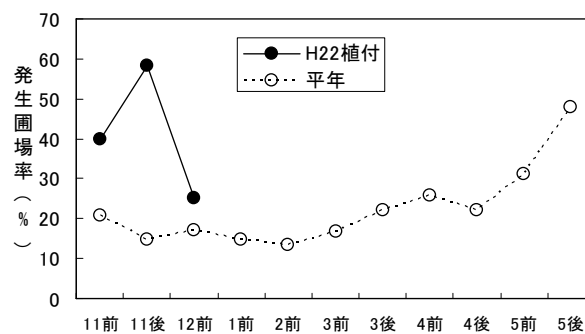


図 トマトコナジラミ類 発生圃場率の推移

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、被害葉率は0.9%(2.1%)、発生圃場率は16.7%(40.6%)であった。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.8%)。

2. 菌核病

平成22年12月15日付病害虫発生予察防除情報第17号による。

たまねぎ

1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は7.7%(5.7%)、発生圃場率は53.3%(39.1%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.4%、発生圃場率7.9%、発病果率0.1%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率5.1%)。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.2%(1.1%)、発生圃場率は11.1%(11.6%)であった。

4. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.7%(2.6%)、発生圃場率は33.3%(20.0%)であった。

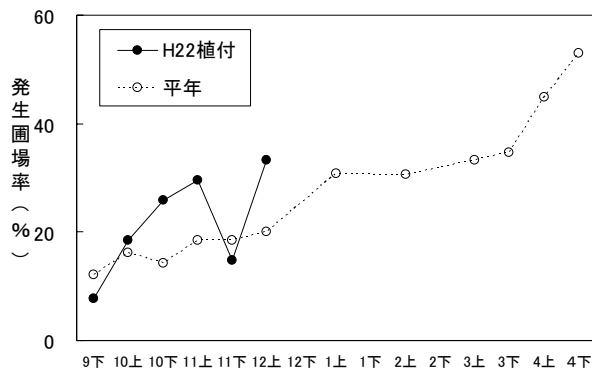


図 いちごハダニ類 発生圃場率の推移

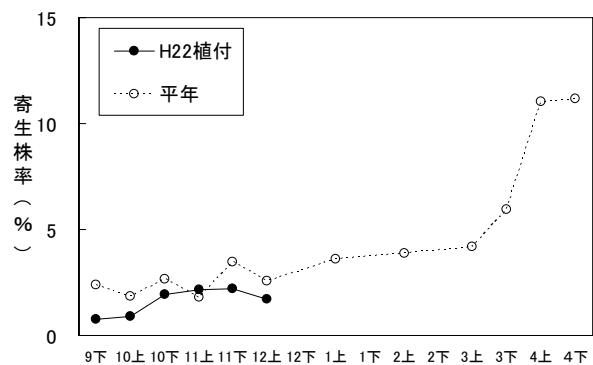


図 いちごハダニ類 寄生株率の推移

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は1.7%、発生圃場率は8.3%であった(過去3カ年平均発生を認めない)。

2. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去3カ年平均発病株率0.1%、発生圃場率2.8%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は2.0%(過去3カ年平均8.3%)、発生圃場率は41.7%(同54.2%)であった。

【参考】
気象

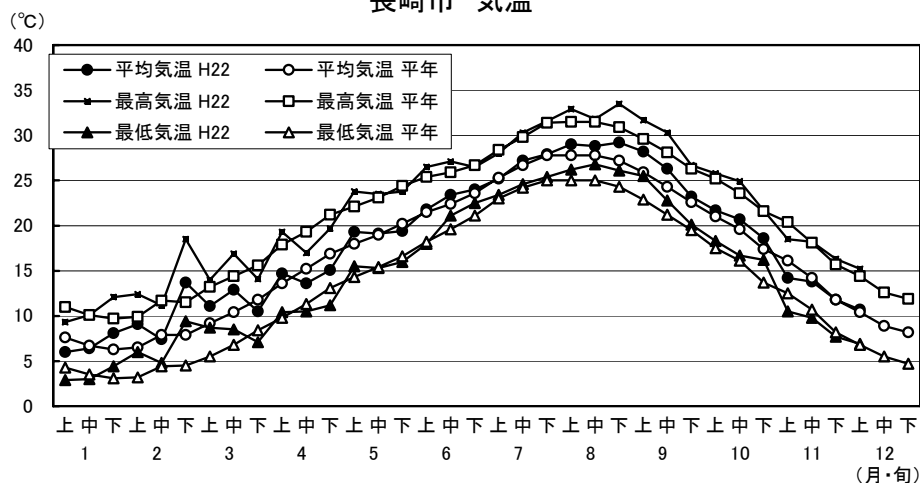
(平成22年12月10日発表 1か月予報 福岡管区气象台)
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	60	30	10
降水量	30	40	30
日照時間	40	40	20

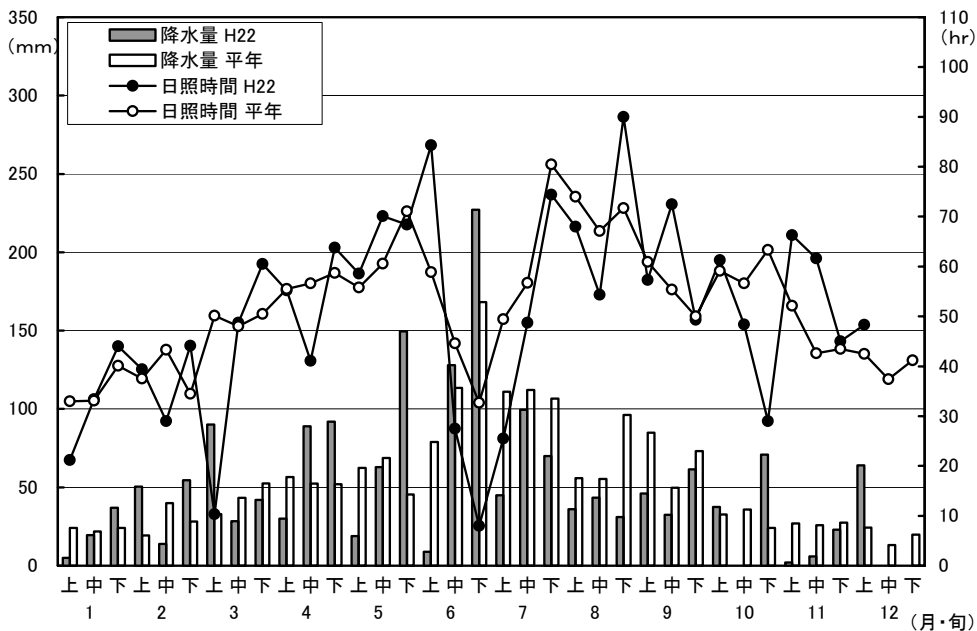
※予報対象地域：九州北部地域

平成22年の気象経過（長崎海洋气象台）

長崎市 気温



長崎市 降水量と日照時間



○病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027